

(18)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-194165

(P2003-194165A)

(43)公開日 平成15年7月9日(2003.7.9)

(51)IntCL'

F16H 7/08
7/02
7/06

識別記号

F I

F16H 7/08
7/02
7/06

チヤコート(参考)

Z 8J049
Z

審査請求 未請求 請求項の数 8 OL (全 7 頁)

(21)出願番号 特願2001-399184(P2001-399184)

(22)出願日 平成13年12月28日(2001.12.28)

(71)出願人 000113447

ボルグワーナー・モールスティック・ジャパン株式会社

三重県名張市八幡字口入野1300番50

(72)発明者 シン・スンピョ
三重県名張市八幡字口入野1300番50 ボルグ・ワーナー・オートモーティブ株式会社
内

(74)代理人 100103241

弁理士 高崎 健一

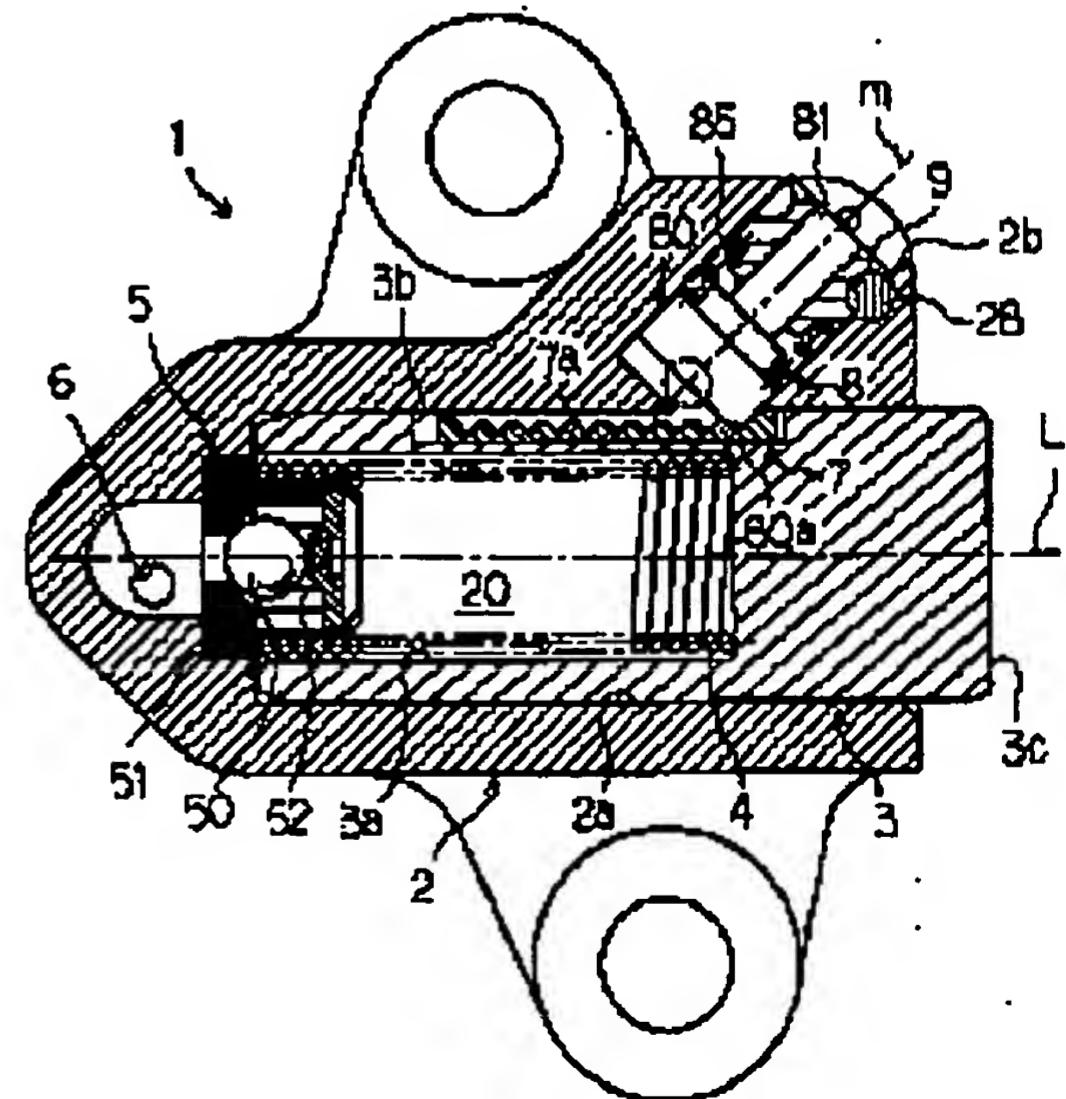
Fターム(参考) 9J049 A01 AA01 AA08 BB13 BB26 BB33
BB35 CA02 DA04

(54)【発明の名称】 液圧チンショナ

(57)【要約】

【課題】 構造を簡略化できるラチェット機構付き液圧チンショナを提供する。

【解決手段】 ハウジング2の穴2a内にスライド自在に挿入され、穴2aとの間で流体チャンバ20を形成する内部空間3aを有するとともに、外周面に形成された溝3bに軸方向スライド自在に収容されたラック部材7を有する中空のアランジャ3と、プランジャ3を突出方向に付勢するスプリング4ヒ、プランジャ3の軸線Lと交差して斜め方向に延びるラチェット穴2bにスライド自在に収容され、ラック部材7のラック歯7aと係合し得る円柱形状のヘッド部80を有し、プランジャ3の突出方向の移動を許容しつプランジャ3の範囲を防止するラチェット部材8と、ラチェット部材8のヘッド部80先端の外周部80uがラック歯7aと係合する方向にラチェット部材8を付勢するコイルスプリング85とを設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 チューンに緊張力を作用させるための液圧テンショナであって、

一端に開口する穴が形成されたハウジングと、

前記穴にスライド自在に挿入され、前記穴との間で流体チャンバを形成する内部空間を有するとともに、ラック歯を外周の一部に有する中空のプランジャと、

前記プランジャを突出方向に付勢する第1の付勢部材と、

前記プランジャの軸線と交差して斜め方向に延びるラチエット穴にスライド自在に収容され、前記ラック歯と係合し得る円柱状のヘッド部を先端に有し、前記プランジャの突出方向の移動を許容しつつ前記プランジャの縮退を防止するラチエット部材と、

前記ヘッド部の先端の外周縁部が前記ラック歯と係合する方向に前記ラチエット部材を付勢する第2の付勢部材と、を備えた液圧テンショナ。

【請求項2】 請求項1において、

前記第2の付勢部材がコイルスプリングであって、その一端が前記ヘッド部の背面側に当接し、他端が、前記ラチエット穴の開口部に固定されるフラグ部材に当接している、ことを特徴とする液圧テンショナ。

【請求項3】 請求項1において、

前記プランジャの外周面には、軸方向に延びる溝が形成されており、

前記溝には、前記溝の軸方向長さよりも短い長手方向長さを有しつつ前記ラック歯を有するラック部材が軸方向スライド自在に収容されている、ことを特徴とする液圧テンショナ。

【請求項4】 請求項1において、

前記ヘッド部と前記ラック歯との係合ロック状態を解除するために、前記ヘッド部の先端側にロック解除ピンを挿入するための第1の貫通孔が前記ハウジングに形成されるとともに、前記プランジャを縮退状態で保持するために、前記ラチエット部材の後端側にリテーニングピンを挿入するための第2の貫通孔が前記ハウジングに形成されている、ことを特徴とする液圧テンショナ。

【請求項5】 請求項4において、

前記ロック解除ピンおよび前記リテーニングピンは、先端がテーパ状に形成された共通のピンである、ことを特徴とする液圧テンショナ。

【請求項6】 請求項1において、

前記ハウジングの前記穴の底部には、前記流体チャンバ内への流体の流れを許容しつつ逆方向への流体の流れを阻止するチェックバルブが設けられている、ことを特徴とする液圧テンショナ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、チェーンやベルトに適正な緊張力を作用させるための液圧テンショナに関

し、詳細には、液圧低下時などにおいてプランジャの縮退を防止するためのラチエット機構を備えたものに関する。

【0002】

【従来の技術およびその課題】液圧テンショナは、一般に、ハウジングと、ハウジングに形成された穴にスライド自在に挿入され、スプリングによって突出方向に付勢された中空のプランジャと、ハウジングの穴およびプランジャにより限定された流体チャンバとから主として構成されている。テンショナの運転中には、チェーンまたはベルトからプランジャ先端に作用する押付力が、スプリングによる弾性反発力およびチャンバ内の液圧による抗力と釣り合っている。

【0003】ところで、自動車用のタイミングシステムに適用される液圧テンショナにおいては、エンジンの始動時などのように、チャンバ内に十分な液圧が作用していない状況下では、チェーンからプランジャ先端に押付力が作用したとき、プランジャがハウジング内に容易に押し込まれてプランジャが縮退し、その結果、ノイズや振動が発生することがある。

【0004】そこで、このようなプランジャの縮退を防止するために、例えば、特開2000-136859号公報や特開2001-304360号公報などに示すようなラチエット機構を備えた液圧テンショナが提案されている。

【0005】特開2000-136859号公報に示すラチエット機構は、ハウジングに形成された縦方向の孔に移動自在に支持されたラックと、ハウジングに形成された横方向のキャビティにスライド自在に収容され、ラックと係合する複数の歯を備えたラチエットと、キャビティ内に収容され、ラチエットの各歯がラックと係合する方向にラチエットを付勢するスプリングとから構成されている。

【0006】また、特開2001-304360号公報に示すラチエット機構は、ピストン外周に形成されたラック溝と、ハウジング内においてピストンの軸線と交差する方向に延びる横穴にスライド自在に収容され、ラック溝と係合する複数の歯を備えた爪部材と、横穴内に収容され、爪部材の各歯がラック溝と係合する方向に爪部材を付勢するスプリングとから構成されている。

【0007】これらいずれの場合においても、プランジャ先端にチェーンから押付力が作用してプランジャが後退する際には、ラチエットまたは爪部材の各歯がラックと係合してプランジャの移動を阻止することにより、プランジャの縮退が防止されるようになっている。

【0008】ところが、上記各公報に示すものでは、ラックと係合するラチエットまたは爪部材に複数の歯が形成されており、構造が複雑になっている。

【0009】本発明は、このような従来の問題点を解消すべくなされたもので、その目的は、構造を簡略化でき

るラチエット機構付き液圧テンショナを提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明に係る液圧テンショナは、一端に開口する穴が形成されたハウジングと、ハウジングの穴にスライド自在に挿入され、穴との間で流体チャンバを形成する内部空間を有するとともに、ラック歯を外周の一部に有する中空のプランジャと、プランジャを突出方向に付勢する第1の付勢部材と、プランジャの軸線と交差して斜め方向に延びるラチエット穴にスライド自在に収容され、ラック歯と併合し得る円柱状のヘッド部を先端に有し、プランジャの突出方向の移動を許容しかつプランジャの縮退を防止するラチエット部材と、ヘッド部の先端の外周縁部がラック歯と併合する方向にラチエット部材を付勢する第2の付勢部材とを備えている。

【0011】請求項1の発明によれば、テンショナの運転中において、プランジャが突出方向に移動する際には、ヘッド部を介してラチエット部材がラック歯から遠ざかる方向にラチエット穴内をスライド移動することにより、プランジャの移動が行われる。また、プランジャが後退方向に移動する際には、ラチエット部材のヘッド部先端の外周縁部がラック歯と併合することにより、プランジャの縮退が防止される。

【0012】この場合には、ラチエット部材に複数の歯を設けることなく、加工や成形の容易な円柱形状のヘッド部の外周縁部を利用してラチエット機構が構成されているので、構造を簡略化できる。

【0013】請求項2の発明では、第2の付勢部材がコイルスプリングであって、その一端がラチエット部材のヘッド部の背面側に当接しており、他端がラチエット穴内のプラグ部材に当接している。これにより、ラチエット部材、コイルスプリングおよびプラグ部材を一体化してラチエット穴内に組み込むことができ、テンショナの組立てが容易になる。

【0014】請求項3の発明では、プランジャの外周面に形成された軸方向の溝に、その軸方向長さよりも短いラック部材が軸方向スライド自在に収容されている。この場合には、テンショナの運転時に、溝の軸方向長さとラック部材の長手方向長さとの差がバックラッシュとして作用することになり、全体のバックラッシュ量を増大できる。これにより、芯間距離が比較的長いチェーンシステムに好適の液圧テンショナを提供できる。

【0015】請求項4の発明では、ヘッド部とラック歯との併合ロック状態を解除するために、ヘッド部の先端側にロック解除ピンを挿入するための第1の貫通孔がハウジングに形成されており、さらに、プランジャを縮退状態で保持するために、ラチエット部材の後端側にリテーニングピンを挿入するための第2の貫通孔がハウジングに形成されている。

【0016】この場合には、ロック解除ピンを第1の貫通孔に挿入することにより、ヘッド部がラック歯が遠ざかる側に移動して、ヘッド部とラック歯との併合ロック状態を容易に解除できる。この併合状態の解除により、たとえば、テンショナの出荷時などにおいて、作業者がプランジャをハウジング内部に容易に押し込むことができるようになる。

【0017】次に、リテーニングピンを第2の貫通孔に挿入すると、ヘッド部がラック歯から遠ざかる側へのラチエット部材の移動が規制されることにより、プランジャの突出方向への移動が規制され、これにより、プランジャの縮退状態を容易に維持できるようになる。その結果、テンショナのチェーンへの組付けを容易に行えるようになる。なお、チェーンへの組付け後は、このリテーニングピンを抜くことによって、テンショナが作動可能状態におかれる。

【0018】ロック解除ピンおよびリテーニングピンは、請求項5の発明のように、先端がテーパ状に形成された共通のピンから構成されているのが好ましい。この場合には、ピン先端がテーパ状に形成されていることにより、ヘッド部の先端側およびラチエット部材の後端側へのピンの挿入を容易に行えるようになる。また、各ピンを一種類のピンで共用することにより、部品点数を削減できる。

【0019】請求項6の発明では、チャンバ内への流体の流れを許容しかつ逆方向への流体の流れを阻止するチェックバルブがハウジングの穴の底部に設けられている。この場合には、プランジャの後退時にチェックバルブが閉じることにより、チャンバ内の液圧が抗力としてプランジャに作用することになり、これにより、プランジャの後退をより確実に防止できるようになる。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施態様を添付図面に基づいて説明する。図1は本発明の一実施態様による液圧テンショナの概断面図、図2は図1の液圧テンショナにおけるラチエット機構部分の拡大図、図3はラチエット機構とロック解除ピンとの位置関係を説明するための図、図4はラチエット機構とリテーニングピンとの位置関係を説明するための図、図5ないし図8はプランジャ伸長時のラチエット機構の作動を説明するための図、図9および図10はプランジャ縮退時のラチエット機構の作動を説明するための図である。

【0021】図1に示すように、液圧テンショナ1は、ハウジング2と、ハウジング2に形成された穴2a内にスライド自在に挿入された中空のプランジャ3と、プランジャ3を穴2aから突出する方向に付勢するスプリング(第1の付勢部材)4とから主として構成されている。

【0022】ハウジング2内において、プランジャ3に形成された内部空間3aおよび穴2aの内壁面から流体

チャンバ20が形成されている。また、ハウジング2内において穴2aの底部には、チェックバルブ5が設けられている。このチェックバルブ5は、チャンバ20内への流体の流れを許容する一方、これとは逆方向への流体の流れを阻止するためのものであって、ポール50と、ポール50が当接するポールシート51と、ポール50をポールシート51の側に付勢するスプリング52とから構成されている。なお、チェックバルブ5としては、その他の構成のものを採用するようにしてもよい。またハウジング2には、チャンバ20を外部の加圧流体源(図示せず)に接続するための流路6が設けられている。

【0023】プランジャ3の外周面の一部には、軸方向(図1左右方向)に延びる溝3bが形成されている。溝3b内には、ラック歯7aを有するラック部材7が収容されている。ラック部材7の長手方向(同図左右方向)の長さは、溝3bの軸方向長さよりも短くなっている。ラック部材7は、溝3b内に軸方向スライド自在に支持されている。

【0024】ハウジング2内には、ラケット穴2bが形成されている。ラケット穴2bの中心線mは、プランジャ3の軸線lと斜め方向に交差しており、ここでは、中心線mと軸線lとの交差する角度は約45度に設定されているが、この角度は、テンショナのアプリケーションに応じて約30度~約60度の範囲内の角度に適宜設定される。

【0025】ラケット穴2b内には、ラケット部材8が設けられている。ラケット部材8は、図2に示すように、円柱形状のヘッド部80と、ヘッド部80の背面側に延びる軸部81とを有しており、ヘッド部80がラケット穴2b内にスライド自在に支持されている。

【0026】ラケット穴2bの開口部には、プラグ部材9が設けられており、プラグ部材9は、ピン28により開口部に固定されている。ラケット部材8の軸部81は、プラグ部材9の中央の貫通孔にスライド自在に支持されている。

【0027】プラグ部材9およびヘッド部80間には、コイルスプリング(第2の付勢部材)85が搭載されている。コイルスプリング85の一端はヘッド部80の背面に圧接しており、他端はプラグ部材9に圧接している。コイルスプリング85のはね力により、ラケット部材8は、ヘッド部先端の外周縁部80aがラック部材7のラック歯7aと係合する方向に常時付勢されている。

【0028】これらラック歯7a、ラケット部材8およびコイルスプリング85により、本実施態様によるラケット機構が構成されている。このようなラケット機構により、プランジャ3の突出方向(図1右方向)の移動が許容されるとともに、プランジャ3の縮退時には、ラケット部材8のヘッド部80の外周面がラック

歯7aおよびラケット穴2b間で挟持されることにより、プランジャ3の縮退が防止されるようになっている。

【0029】また、この場合、テンショナの組立ての際には、ラケット部材8、コイルスプリング85およびプラグ部材9を一体化してラケット穴2bに挿入すればよいので、テンショナの組立てを容易に行えるようになっている。

【0030】図2に示すように、ハウジング2には、ハウジング2の外周面をそれぞれ軸方向と直交する方向(図2底面垂直方向)に貫通しかつラケット穴2b内に開口する第1および第2の貫通孔25、26が形成されている。第1の貫通孔25は、ラケット部材8のヘッド部80の近傍に開口しており、第2の貫通孔26は、ラケット部材8の軸部81の後端近傍に開口している。

【0031】第1の貫通孔25は、図3に示すように、ラケット部材8のヘッド部80とラック部材7のラック歯7aとの係合ロック状態を解除するためのロック解除ピン10が挿入される孔である。また、第2の貫通孔26は、図4に示すように、プランジャ3を縮退状態で保持するためのリテーニングピン11が挿入される孔である。ロック解除ピン10およびリテーニングピン11は、いずれも先端がテーパ状に形成されている。なお、これらのピンは、一本のピンを共用するようにしてもよく、これにより、部品点数を削減できる。

【0032】次に、テンショナ運転中のラケット機構の作動について、図1を参照しつつ図5ないし図10を用いて説明する。図5に示すように、ラケット部材8のヘッド部80先端の外周縁部80aがラック部材7のラック歯7aと係合した状態において、プランジャ3が最大縮退状態から突出方向(図矢印方向)に移動を開始すると、図6に示すように、ヘッド部80とラック歯7aとの係合状態を維持したまま、まず、プランジャ3のみが突出方向に移動し、これにより、プランジャ3の溝3bの側壁とラック部材7の前面との間に隙間B₀が生じる。

【0033】この状態から、プランジャ3がさらに突出方向に移動すると、図7に示すように、ヘッド部80先端の外周縁部80aがラック歯7aの上に徐々に乗り上げ、これにより、ラケット部材8が、コイルスプリング85のはね力に抗してラケット穴2b内を矢印方向に移動する。

【0034】プランジャ3がさらに突出方向に移動すると、図8に示すように、ヘッド部80先端の外周縁部80aがラック歯7aの一山分を完全に乗り越える。すると、ラック部材8は、コイルスプリング85のはね力により、ラック部材7の側に移動して、ヘッド部80先端の外周縁部80aが次のラック歯7aに係合する。

【0035】なお、プランジャ3が突出方向にさらに移

動する場合には、以下、図6～図8に示す動作が繰り返して行われる。

【0036】次に、チェーンの緊張力が増加して、チェーンからプランジャ先端部3cに押付力が作用した場合には、ボールチェックバルブ6が閉じることにより、チャンバ20内の液圧が抗力としてプランジャ3に作用するので、プランジャ3の後退が防止される。

【0037】また、プランジャ3の後退時には、図9に示すように、ラケット部材8のヘッド部80先端の外周縁部80aとラック部材7のラック歯7aとの係合状態を維持したまま、プランジャ3のみが間隙B_a分だけ後退する。そして、プランジャ3の溝3bの側壁がラック部材7の前端面に当接すると、図10に示すように、ラケット部材8のヘッド部80の外周面がラック歯7aおよびラケット穴2bの内周面間で挟持され、これにより、プランジャ3の後退が確実に防止されることになる。

【0038】この場合には、ラケット部材に複数の歯を設けることなく、加工や成形の容易な円柱形状のヘッド部80の外周縁部80aを利用してラケット部材が構成されるので、構造を簡略化できる。また、プランジャ3の溝3bとラック部材7との間の軸方向の間隙B_aが、液圧テンショナのバックラッシュとして作用することになるので、全体のバックラッシュ量を増大できる。これにより、芯間距離が比較的長いチェーンシステムに好適の液圧テンショナを提供できる。

【0039】なお、テンショナの出荷時や据付時などのように、ラケット部材8のヘッド部80とラック歯7aとの係合ロック状態を解除してプランジャ3を縮退状態にする場合には、図3に示すように、ハウジング2に形成された第1の貫通孔25内にロック解除ピン10を挿入する。これにより、ラケット部材8のヘッド部80先端の外周縁部80aとラック歯7aとの係合状態が解除される。この状態から、作業者がプランジャ3をハウジング内部に押し込むことにより、プランジャ3を容易に縮退状態にすることができる。

【0040】テンショナの出荷時には、さらに、プランジャ3が突出しないようにプランジャ3の先端部3cを抑えた状態で、図4に示すように、ロック解除ピン10を第1の貫通孔25から抜くとともに、ハウジングに形成された第2の貫通孔26内にリテーニングピン11を挿入する。これにより、ラケット部材8のヘッド部80先端の外周縁部80aとラック歯7aとの再び係合するとともに、プランジャ3の縮退状態を維持することができる。

【0041】テンショナをチェーンに組み付けた後は、このリテーニングピン11を第2の貫通孔26から抜くことにより、テンショナが作動可能状態におかれる。

【0042】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明に係る液圧テンショナによれば、加工や成形の容易な円柱形状のヘッド部の外周縁部を利用してラケット機構を構成するようにしたので、構造を簡略化できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施態様による液圧テンショナの概断面図である。

【図2】液圧テンショナ(図1)におけるラケット機構部分の拡大図である。

【図3】ラケット機構とロック解除ピンとの位置関係を説明するための図である。

【図4】ラケット機構とリテーニングピンとの位置関係を説明するための図である。

【図5】プランジャ伸長時のラケット機構の作動を説明するための図である。

【図6】プランジャ伸長時のラケット機構の作動を説明するための図である。

【図7】プランジャ伸長時のラケット機構の作動を説明するための図である。

【図8】プランジャ伸長時のラケット機構の作動を説明するための図である。

【図9】プランジャ縮退時のラケット機構の作動を説明するための図である。

【図10】プランジャ縮退時のラケット機構の作動を説明するための図である。

【符号の説明】

1： 液圧テンショナ

2： ハウジング

30 2a： 穴

2b： ラケット穴

20： 流体チャンバ

3： プランジャ

3a： 内部空間

3b： 溝

4： スプリング(第1の付勢部材)

5： チェックバルブ

7： ラック部材

7a： ラック歯

40 8： ラケット部材

80： ヘッド部

80a： 外周縁部

85： コイルスプリング(第2の付勢部材)

9： プラグ部材

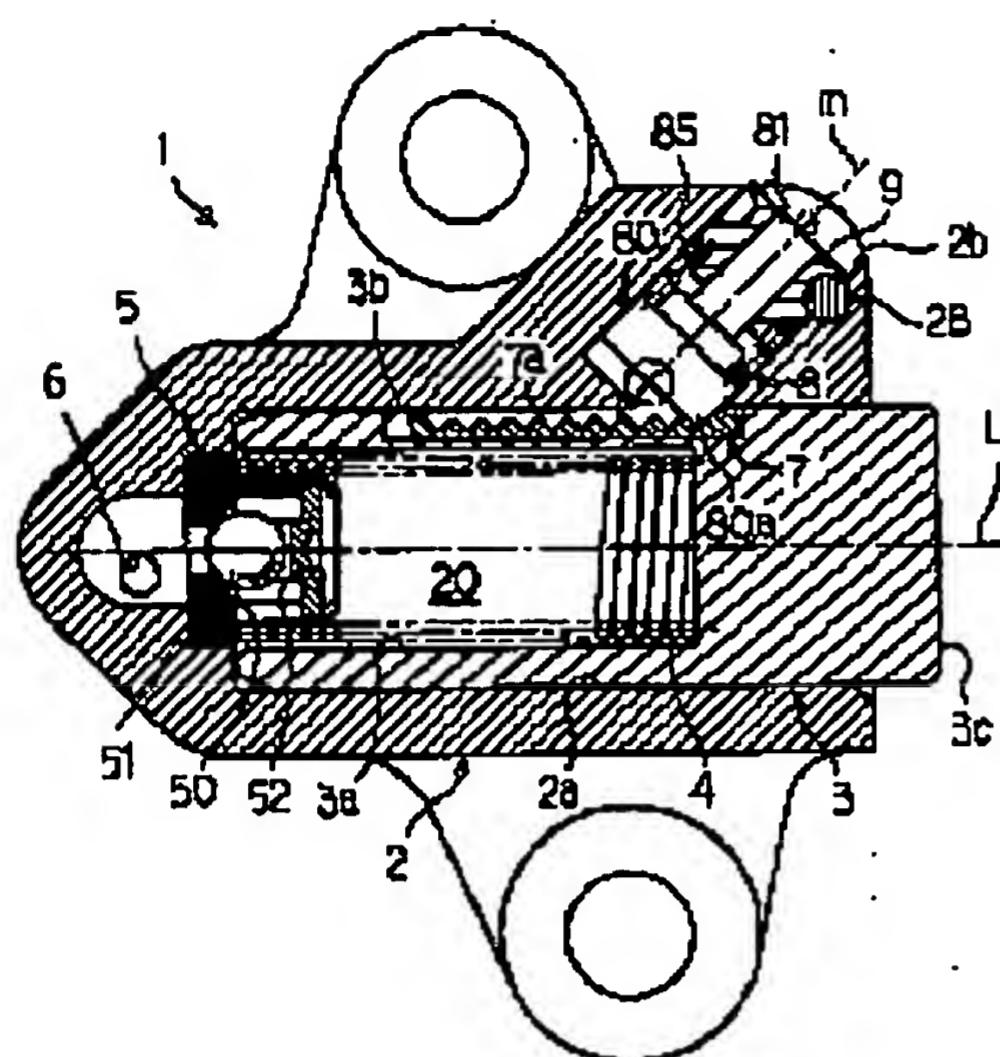
10： ロック解除ピン

11： リテーニングピン

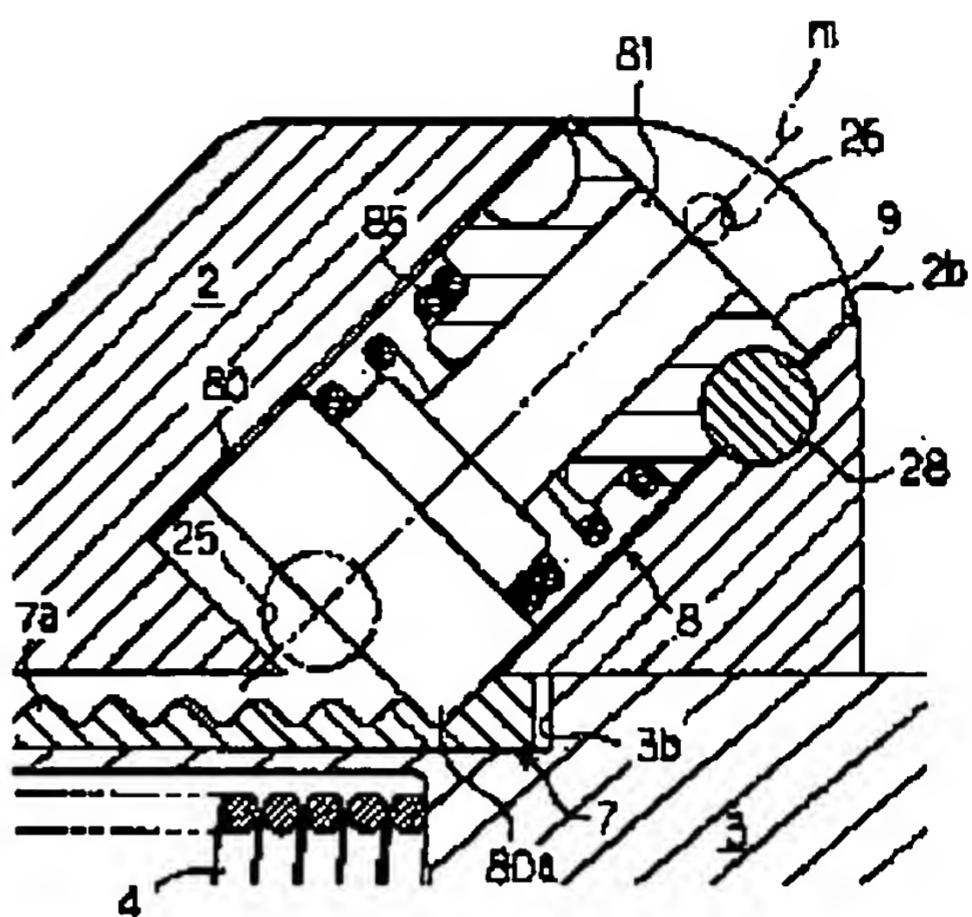
25： 第1の貫通孔

26： 第2の貫通孔

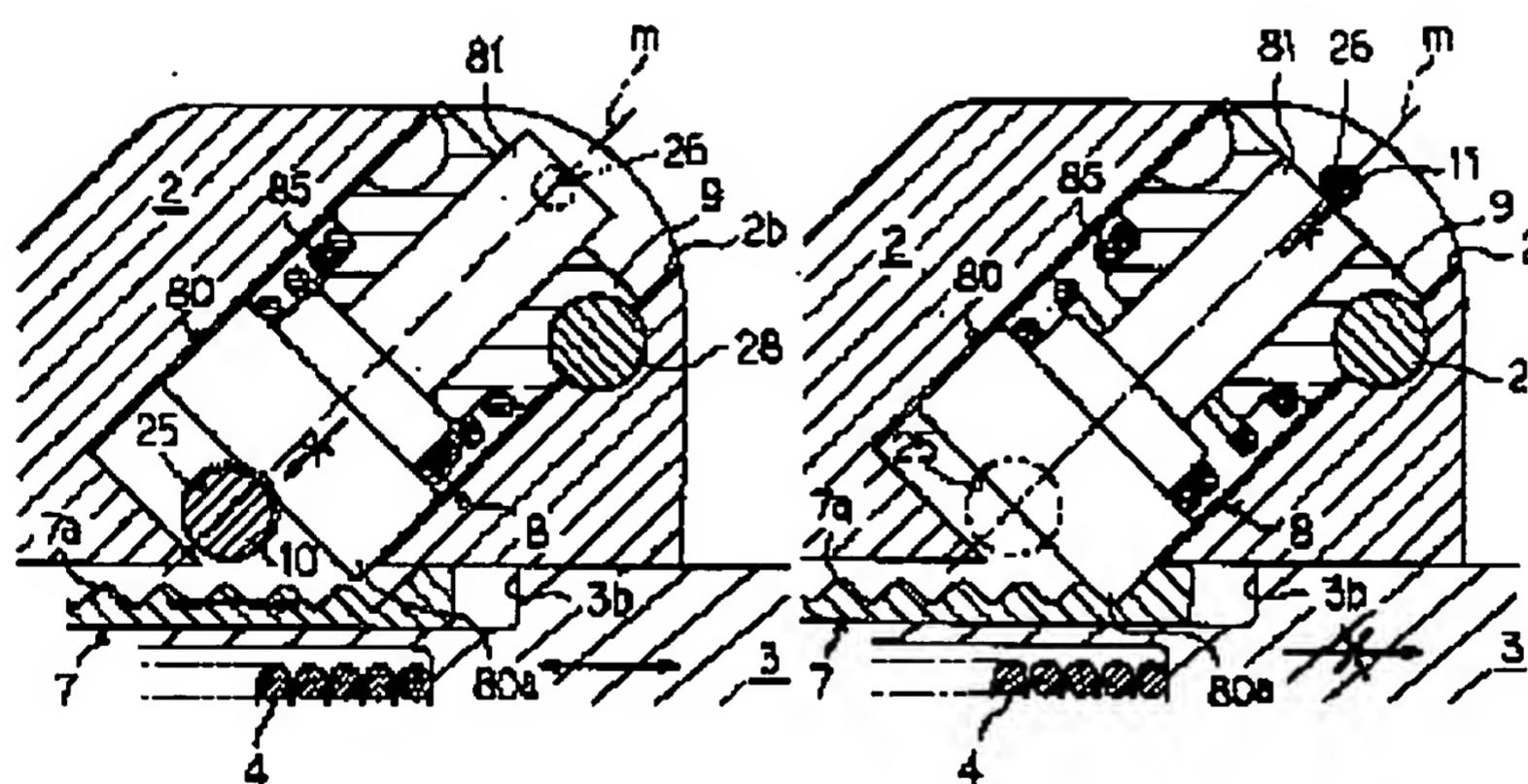
【図1】



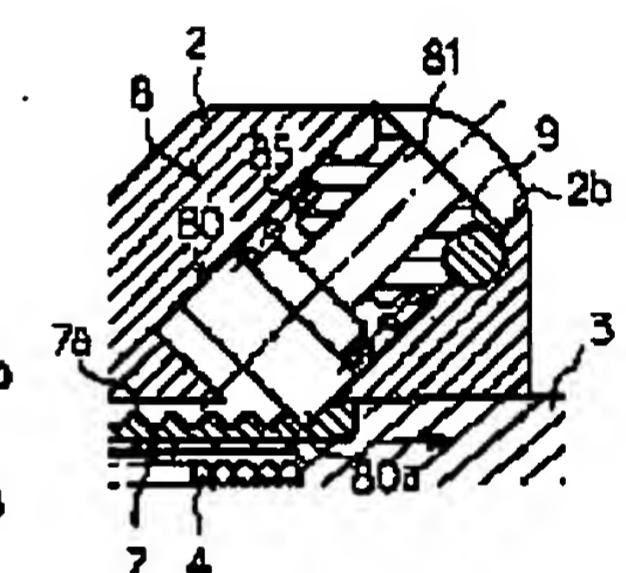
【図2】



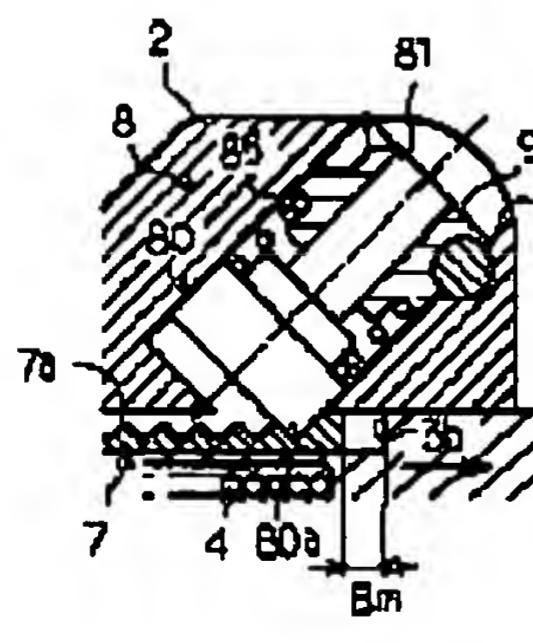
【図3】



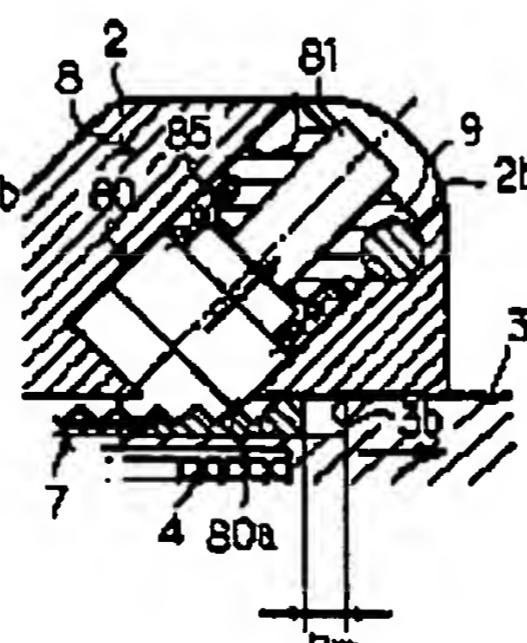
【図4】



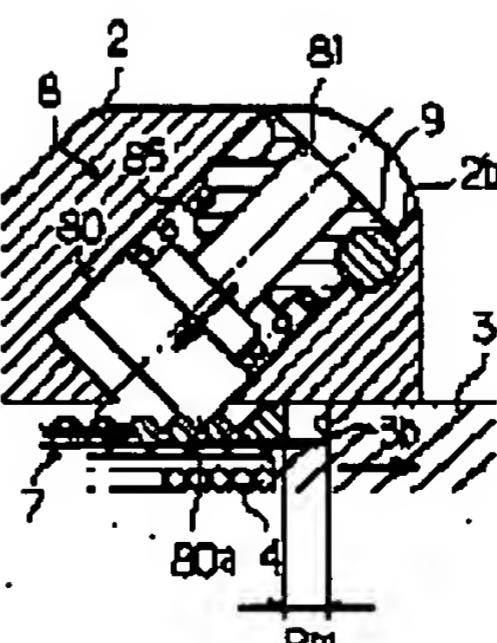
【図6】



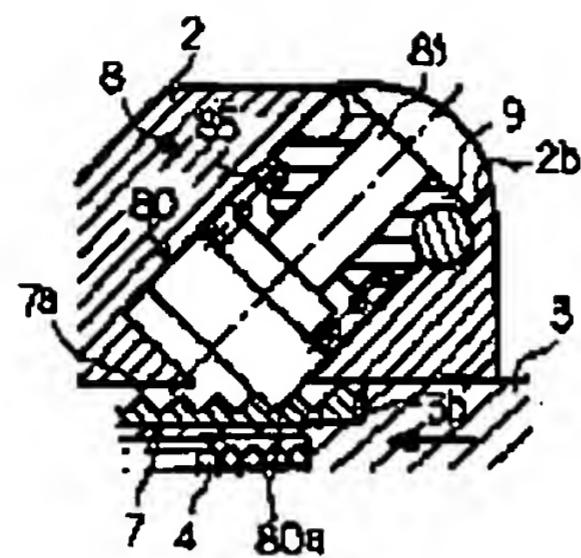
【図7】



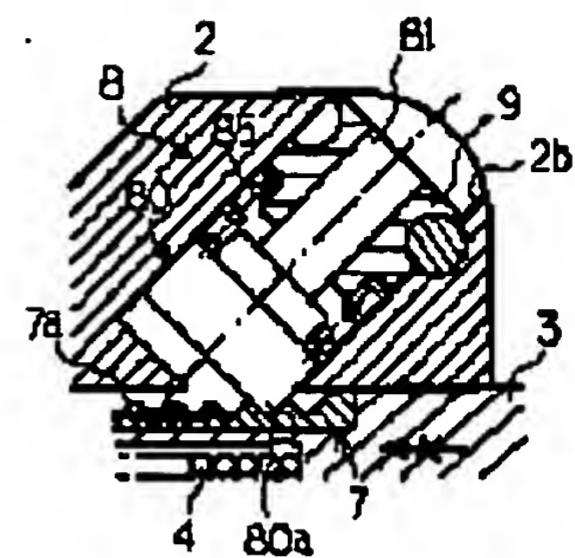
【図8】



【図9】



【図10】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.